

## タブレット活用<sup>かつよう</sup>のルール

令和7年

学習<sup>がくしゅう</sup>内容をよく理解<sup>りかい</sup>し、学習<sup>がくしゅう</sup>に役立<sup>やくだ</sup>てるための道具<sup>どうぐ</sup>としてタブレットを役立<sup>やくだ</sup>てていきます。  
タブレットは便利<sup>べんり</sup>な道具<sup>どうぐ</sup>ですが、気<sup>き</sup>をつけることもたくさんあります。  
そのため、教育委員会<sup>きょういくいいんかい</sup>では「タブレット活用<sup>かつよう</sup>のルール」を決<sup>き</sup>めましたので、このルールをまも<sup>まも</sup>って、「安全・安心・快適<sup>あんぜん・あんしん・かいてき</sup>」に使<sup>つか</sup>って学習<sup>がくしゅう</sup>に役立<sup>やくだ</sup>ててください。

### 1、タブレットを使う<sup>つか</sup>目的<sup>もくてき</sup>

- ・学校<sup>がっこう</sup>で貸<sup>か</sup>し出すタブレットは、学校<sup>がっこう</sup>や家<sup>いえ</sup>で学習<sup>がくしゅう</sup>するときに使<sup>つか</sup>うことが目的<sup>もくてき</sup>です。学習<sup>がくしゅう</sup>にかかわること<sup>こと</sup>にのみ使<sup>つか</sup>いましょう。ゲームや学習<sup>がくしゅう</sup>に関係<sup>かんけい</sup>のない動画<sup>どうが</sup>をみることには使<sup>つか</sup>用<sup>しよう</sup>しないようにしましう。

### 2、タブレットを使う<sup>つか</sup>ときに気<sup>き</sup>をつけること

- ・先生<sup>せんせい</sup>の話<sup>はなし</sup>をよく聞<sup>き</sup>いて授業<sup>じゅぎょう</sup>で使<sup>つか</sup>いましょう。
- ・休み時間<sup>やすじかん</sup>や放課後<sup>ほうかご</sup>、学校<sup>がっこう</sup>の外<sup>そと</sup>では、先生<sup>せんせい</sup>が認<sup>みと</sup>めたときに使<sup>つか</sup>うことができます。
- ・画面<sup>がめん</sup>の操作<sup>そうさ</sup>は、指<sup>ゆび</sup>や専用<sup>せんよう</sup>のタッチペン<sup>つか</sup>を使<sup>つか</sup>いましょう。
- ・使<sup>つか</sup>い終わ<sup>お</sup>ったら、シャットダウン<sup>ほかんこ</sup>してタブレットをたたみ、保管庫<sup>ほかん</sup>で保管<sup>ほかん</sup>しましょう。
- ・タブレットはとて<sup>とて</sup>も壊<sup>こわ</sup>れやすい機<sup>き</sup>械<sup>かい</sup>です。次<sup>つぎ</sup>のことが苦手<sup>にくて</sup>なので大切<sup>たいせつ</sup>に使<sup>つか</sup>いましょう。

#### 【故障<sup>こしょう</sup>の原因<sup>げんいん</sup>になること】

落<sup>お</sup>とす、物<sup>もの</sup>をぶつ<sup>みず</sup>ける、水<sup>みず</sup>にぬれる、よごれる、地面<sup>じめん</sup>に直<sup>ちよく</sup>接<sup>せつ</sup>置<sup>お</sup>く、ほこりの多<sup>おほ</sup>いところ<sup>ところ</sup>で使<sup>つか</sup>う、暑<sup>あつ</sup>い日<sup>ひ</sup>向<sup>ひなた</sup>やストーブ<sup>ねつ</sup>の熱<sup>ねつ</sup>がある場所<sup>ばしょ</sup>で使<sup>つか</sup>う、こおるような寒<sup>さむ</sup>い場所<sup>ばしょ</sup>で使<sup>つか</sup>う、重<sup>おも</sup>いもの<sup>もの</sup>を上<sup>うへ</sup>に乗<sup>の</sup>せる、画面<sup>がめん</sup>をペン<sup>がめん</sup>などで強<sup>つよ</sup>く押<sup>お</sup>す、乱暴<sup>らんぼう</sup>にキーボード<sup>お</sup>を押<sup>お</sup>す、磁石<sup>じしゃく</sup>を近づ<sup>ちか</sup>づける、横<sup>よこ</sup>の穴<sup>あな</sup>にえんぴつ<sup>えんぴつ</sup>や消<sup>け</sup>しごむ<sup>い</sup>を入<sup>い</sup>れるなどはし<sup>し</sup>ないでください。

### 3、家で使う<sup>いえ</sup>ときに気<sup>き</sup>をつけること

- ・登<sup>とう</sup>下<sup>げ</sup>校<sup>こう</sup>中<sup>ちゅう</sup>はタブレッ<sup>だ</sup>ットをカバ<sup>だ</sup>ンから出<sup>だ</sup>さないようにしましう。
- ・タブレットをカバ<sup>すいとう</sup>ンに入<sup>い</sup>れるときは、水筒<sup>すいとう</sup>のふた<sup>ふた</sup>がきち<sup>し</sup>んと閉<sup>し</sup>ま<sup>し</sup>っているか確<sup>かく</sup>認<sup>にん</sup>しましう。

- ・タブレットは、朝7時から夜9時まで使うことができますが、使うときは家の人とよく話し合い、長い時間使わず、30分に1回は遠くの景色を見て目を休めましょう。
- ・部屋を明るくして、いすに座するなど正しい姿勢で画面から顔を30cm以上はなして使いましょう。
- ・寝る1時間前までに使い終わりましょう。
- ・使い終わったらタブレットをたたみ、専用の充電コードで充電して学校に持って行って使いましょう。
- ・タブレット専用の充電コードで家のスマホなどを充電すると壊れることがあるので使わないようにしましょう。

#### 4、保管のしかた

- ・学校では、保管庫の中に入れましょう。
- ・家では、家の人目の届くところで充電したり、使わないときはカバンの中に入れておき場所を決めておきましょう。

#### 5、安全な使い方

- ・インターネットを正しく使えば学習を広めたり、生活を便利で楽しくしたりできますが、中にはあやしいサイトや個人の情報をたくみに得ようとする悪質なサイトもあります。もし、あやしいサイトに入ってしまったときは、すぐに画面を閉じて、先生や家の人に伝えましょう。

#### 6、個人情報で気をつけること(この内容はインターネット以外の場所でも同じです。)

- ・ログインIDやパスワードは必ず自分のものを使い、他人に教えないように大切に保管しましょう。
- ・タブレットを他人に貸したり、使わせたりしないようにしましょう。
- ・自分や他人の名前や住所、電話番号、写真などをインターネット上にのせることは禁止します。
- ・人を傷つけたり、嫌な気持ちにさせたりするような書き込みは禁止します。
- ・カメラで写真や動画を撮るときは、勝手に撮らず、撮影する相手や管理している人の許可をもらいましょう。

#### 7、データの保存

- ・タブレットで作ったデータやインターネットからダウンロードしたデータには、著作権や肖像権という作品や姿に権利が発生するものがあります。先生が許可したデータだけを保存しましょう。

## 8、設定の変更

- ・おもしろ半分で設定を変更すると、使えなくなる事もありますので、タブレットの設定は変えないようにしましょう。
- ・先生の許可なく、アプリをインストールやアンインストールしてはいけません。
- ・ログインIDやパスワードを変更することはできません。
- ・ログインアカウントは学校から配られたもの以外を使ってはいけません。

## 9、不具合や故障したとき

- ・学校でアプリやインターネットが動かなくなったときは、再起動を試みましょう。
- ・再起動しても元に戻らないときは、先生に相談しましょう。
- ・使い方が悪くて破損・故障した場合や故意に壊した場合、また、紛失した場合は、学校や教育委員会で協議の上、保障を求める場合がありますので大切に扱ってください。

## 10、その他

- ・転校や卒業で学校を出るときは、タブレットを必ず学校に返しましょう。
- ・「タブレット活用のルール」を守れないときは、タブレットを使うことを停止します。